



# 生殖医療センターの開設にあたって

産婦人科助教授 生殖医療センター長 平田 修司

お子さまに恵まれないご夫婦、すなわち、不妊症のカップルの割合は、10組中1組にも及んでおります。山梨大学医学部附属病院では、こうした不妊症の患者さんに対する診療を主に産婦人科において行っていました。よりいっそう診療体制を充実させるために、本年の10月1日に附属病院内に「生殖医療センター」を開設いたしました。近年、卵細胞質内精子注入法(極く細いガラスの針で精子を直接卵子の中に注入して受精卵を得る方法)をはじめとする生殖補助医療技術(ART)の不妊治療への応用が拡大し、我が国での出生児の65人に1人はARTによる妊娠によって出生しています。しかしながら、不妊症の治療は、とくにそれが高度なものになればなるほど、患者さん(本人やご家族)、身体的にも精神的にも様々な負担をかけるものになっています。本「生殖医療センター」は、こうした様々な負担に最大の配慮を払って、それをできるだけ和らげながら、最先端のARTを不妊症患者さんに提供することを目的として開設いたしました。

また、「治療が効を奏して」妊娠が成立した後も、当院において妊娠中、分娩および育児に至るまで一貫して管理・サポートすることも本「生殖医療センター」の大きな特徴です。このような不妊症患者さんのトータルケアを目指して、産婦人科、泌尿器科、看護学、社会医学、遺伝学、等々の医学部の専門家が協力して本「生殖医療センター」の運営を行います。なお、本「生殖医療センター」では、本学工学部の専門家と共同

「ごどもが欲しいのになかなかできない」というお悩みをお持ちの方は、ぜひ本学医学部附属病院「生殖医療センター」にご相談ください。初診の受付は、月曜日～金曜日の午前8時30分～午前10時30分です。初診の際には、総合案内カウンターにいらしてください。なお、再診は完全時間予約制となっております。



採卵室内

## マナーを守って

### 携帯電話を使用しましょう

院内は多くの患者さんが行き来をしています。歩きながらの通話やメールは注意が散漫になり危険です。また、大声での通話は、他の患者さん等に迷惑が掛かります。病棟では、夜間、電話が鳴ると睡眠を妨げることに

なります。「他の人の気持ちになり、最低限のマナーを守る」それがルールです。皆様のご協力をお願いいたします。  
※通話は、通話可能区域(左図が貼ってある場所)でお願いします。

#### 携帯電話・PHS通話可能区域



この区域では、携帯電話・PHSの通話ができます。

ただし、大声での通話、歩きながらの通話については、他の方の迷惑になりますので、ご遠慮くださるようお願いいたします。

附属病院

## 菊の展示

甲府市在住の秋山安雄様御夫妻の御好意により、「泉郷羽衣」、「国華聖剣」等の15種類、29鉢の菊を外来ホールに展示しました。見事な作品に、思わず足を止め見入っていた患者様も多かったのではないのでしょうか。

#### 【裏話】

「菊は観て終わりじゃないんだよ。湯がいてあくを抜き、水気をしぼった菊の刺身はポン酢で食べれば美味しいんだよ。なかでも、紫色がコリコリして、見た目も薄い桜色になって最高だね。」



#### 病院の理念

一人ひとりが満足できる病院

#### 病院の目標

共に考える医療・質の高い医療・快適な医療環境・効率の良い医療・良い医療人の育成



## 患者さんからのよくある質問

### Q 病院駐車場を利用するのは、有料ですか。

A 本院では、来院される皆様（特に外来患者さん）の駐車スペースを優先的に確保することを目的に、病院駐車場をゲート化しております。利用方法については、次のとおりです。皆様のご理解とご協力をお願いします。

1. 病院駐車場を利用出来る方は、次の方々です。
  - ・ 外来患者さん（無料）
  - ・ 本院で特に許可を受けた付き添いの方（無料）
  - ・ ご面会（見舞い）の方（30分までは無料）
2. 病院駐車場の利用方法・無料化措置の方法
  - ① 病院駐車場に入る際に、入口ゲートで整理券をお取り下さい。
  - ② 外来患者さんは、受診前又は受診後に再来受付機付近の担当職員に整理券を渡し、無料化の措置を受けて下さい。なお、午後2時以降は、医事課4番窓口（計算受付）で無料化の措置を行っております。
  - ③ 入院患者さんのご家族の方で、本院で特に許可された付き添いの方は、病棟ナースステーションに整理券を提出していただきますと無料化の措置をいたします。
  - ④ ご面会（お見舞い）の方は、30分までは無料です。30分を超えた場合には1時間ごとに100円の料金をお支払いいただくこととなります。
  - ⑤ 病院駐車場から出る際には、整理券を出口ゲートの精算機にお入れ下さい。

## 個人情報の保護について

現在、様々な事業者が顧客データなどの個人情報を所有していますが、情報処理技術の進展により、その蓄積、編集等が簡単に行え、また、ネットワークの普及により、それが瞬時に世界中をも駆け巡るような状況が出現しています。適正に利用すれば非常に有用なデータとなりえますが、反面、管理が不適切であると、データが外部に漏洩することにつながり、世間ではそういった事故も少なからず起こっています。

このような中で、国民の個人情報に対する関心が高まり、本年4月から個人情報保護法が全面施行され、各事業者は個人情報の適正な取扱いが求められることとなりました。

本院は、患者様の権利・利益を保護するために、医療機関としてだけでなく、教育研究機関として個人情報を適切に管理することが責務と考えます。

そのため、個人情報保護に関する方針（注）を定め、職員及び関係者に周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めています。

### 個人情報保護に関する本院での取り組み

- ① 外来での呼び出しを原則として番号札での呼び出しに変更。
- ② 院内放送での呼び出しを廃止
- ③ 病室前のネームプレート掲示について、希望者は廃止。
- ④ 電話での入院患者問い合わせに対して応じない。
- ⑤ 面会簿を廃止

一方、本院は、患者さんの貴重な個人情報を含む記録を、医療機関としてだけでなく、医学部の附属病院という教育研究機関としての立場から所定の目的（注）に利用させていただきたいと思っておりますので、患者さんのご理解とご協力をお願いいたします。

注：本院入口に掲示しております。

## 山梨大学医学部附属病院では「院外処方せん」をお渡ししています。

### 「院外処方せん」をご存知ですか？

処方せんには「院内処方せん」と「院外処方せん」があります。

「院内処方せん」は、病院の中の薬局でお薬を受け取るものです。

「院外処方せん」は、病院の外の薬局でお薬を受け取るものです。

院外処方せんでは日本全国どこかの保険調剤薬局でもお薬を受け取ることができます。

### なぜ「院外処方せん」をお渡しするのでしょうか。

患者さんの中には、複数の病院や診療所からお薬を処方されて服用されている方がいらっしゃいます。また、処方せんによるお薬以外に薬局などから**大衆薬**（処方せんがなくても薬局・薬店で購入できるお薬）や**健康食品**を購入している患者さんもいらっしゃいます。このような場合に、お薬を処方する病院や診療所では全てのお薬の**飲み合わせ**のチェックをしきれないことがあります。厚生労働省は全国の保険薬局に対して、患者さんの「**かかりつけ薬局**」となり、病院や診療所からのお薬だけでなく大衆薬や健康食品を含めた**飲み合わせ**をチェックし、お薬による副作用を防ぐよう指導しています。

これらの理由から、山梨大学病院では、外来患者さんには原則的に「**院外処方せん**」をお渡しして、患者さんが「**かかりつけ薬局**」でお薬を受け取りになれるようお奨めしています。



### 「かかりつけ薬局」を持つということは・・・

複数の病院や診療所からの処方せんによるお薬だけでなく、大衆薬や健康食品など患者さんが服用するお薬を購入される薬局を一カ所に決め、その薬局の薬剤師にお薬の**トータルケア**をしてもらうことです。

### 「かかりつけ薬局」を持つと・・・



ご自宅の近く、または職場の近くでお薬を受け取ることができます。



FAX相談コーナーでFAXしておけば、かかりつけ薬局でのお薬の待ち時間が短くなります。



大衆薬や健康食品を含めた患者さん個人個人のお薬の服用歴やアレルギー歴を管理します。



かかりつけ薬局の薬剤師がお薬・健康食品および食べ物を含めたお薬の飲み合わせをチェックします。



お薬の服用歴などをもとにきめ細かな服用指導を受けられます。



患者さんの希望により一回分ずつ一包化するなど患者さんの服用しやすい形で調剤を受け取れます。

院外処方せんでは院内に比べて若干料金が高くなります。

※「院外処方せん」の有効期限は4日間ですので、受診された日から4日以内に薬局へお持ちください。

「院外処方せん」について不明な点やお困りの点、お薬についての不安などがございましたら薬剤部窓口にてお気軽にご相談ください。



山梨大学医学部附属病院 薬剤部  
TEL 055-273-9795 (薬剤部)



垂直式救助袋での避難訓練

防災には万全の備えをしますが、現在入院中の患者さん、避難経路を事前には確認して掲示板上に貼ってある「避難経路図」を確認しておいてください。

## 避難経路の確認を

17年度の附属病院消防訓練を、10月14日、夜間、病棟から火災が発生したことを想定して行ないました。当日は、医師・看護師等病院職員の他、甲府南消防署も参加していただきました。出火想定場所での消火栓を使った放水・避難器具を使用した模擬入院患者さんの避難誘導等本番さながらの訓練でした。



病棟での放水訓練

## 附属病院消防訓練実施

## ～天高く、馬肥ゆる秋～



「食育元年」として、今年を「食育元年」とした。

「食欲の秋」と称される季節になった。どこでもなんでも手に入る豊かで便利な時代。スーパーの陳列棚にも越えて揃っている。そんな時代に身を委ねながら、なぜかこの秋には、食することに食欲が湧いてくる。そんなことを重ね合わせながら、日々の食事に食料自給率40%の日本の食卓。「輸入食料の重さ×輸送距離ではじかれるフード・マイル」は、米国の3倍、フランスの9倍など先進国の方が格段に高い。自産自消（自分で育てて自分で食べる）は地球環境にも貢献する。平成14年度国民栄養調査のエネルギー摂取量は約1930キロカロリー、終戦直後の昭和21年は1903キロカロリーとあまり変化はないのであるが、60年前は、飢餓や低栄養、今は生活習慣病（糖尿病、肥満症、高血圧症、高脂血症など）が大きな問題となっている。食生活に不自由ない我が国で、今年を「食育元年」とした。

出生率が低下し、子どもの人口は24年連続減少するなか、小学生の校内暴力は過去最高を記録した。「生きる子」が社会問題となつて久しいが、子どもの人格を形成するうえに食事も大きく関わっていると言われている。このことから、国が「生きる力を育む教育」を前面に押し出したことは言うまでもない。しかし、合理性や話題性を優先したファーストフード文化は、子ども達の頭のてっぺんからつま先まで完全に刷り込まれてしまっている現状と、この地球上で毎年500万人以上の子どもの餓死していることなどの二極化や多様化した食環境など、食への価値観を再考し人間教育を刷新することは容易な事ではないだろうが急務であることに間違いない。

また、これらに加えて食育は教育現場だけのものではなく、毎日、15000食の病院給食を提供する当栄養管理部で、「美味しい」に消費してゆく食に、飢えに苦しむ8億5000万人の人々のことを重ねて思うと、この私に何が出来るのだろうか」と悩む日々である。

栄養管理部 鷹野